

## 研修レポート

# 北海道伊達市の「移住・定住促進」の視察について

議員研修視察報告者 腰山良悦



黎明館の刀鍛冶工房



職員から説明を受けています

11月の予定でしたが、伊達市と日程の調整がつかず1月（13日～14日）の寒い時期の視察となりました。一行は柴田団長他3名です。出発当日、悪天候で列車が遅れ途中で中止になるのではないかと心配しました。どうか一汽車遅れで現地に到着、時間の都合で翌日に予定されていた道の駅だて歴史の杜「黎明館」の見学となりました。藍工房・刀鍛冶工房が併設された物産館で、エリア内には文学記念館、開拓記念館などもあり、年間15万

人が訪れ特産品やお土産品の販売、市民・旅行者の藍染体験など行われているそうです。翌日、本題の研修のため市庁舎を訪れ担当の方から次の通り詳しい説明を受けながら懇談しました。



このような環境の中で、少子高齢化が進む中で、市民・高齢者が心豊かで安心・安全に暮らせる「自主自立のまちづくり」を目指し、「伊達ウェルシーランド構想」によるまちづくりを官民協同で取り組み、積極的に「人の誘致」を

含めた移住・定住政策を展開しているとのことでした。

その構想の

中身は

①安心ハウス

（高齢者の

方々が安

心・安全・

快適に住む

ことが出来

る良質な建



安心ハウス

物。種類によっては住宅

型・施設型・グループプー

ム型や訪問介護事務所を併

設したするなど）認定制度

を制定し、民間活力により

普及促進している。）

②優良田園住宅（農山村地域、

都市の近郊その他良好な自

然環境を形成している地域

に所在する一戸建ての住

宅。市有地の跡地を活用し

た民間開発による建設事業

を進めている。

参考：土地価格 坪単価三

七〇〇〇円程度。）

③相乗りタクシー（自動車運

転しない方々が、負担が少

なく安心して利用できる新

しい交通手段として、会

員・予約制の乗合いタクシ

ー事業。移送サービスだけ

でなく、買物代行などの生

活支援サービスを付加サー

ビスとして提供。）

●運行区域：市内全域

●運行日：月曜日～土曜日

（祝祭日を除く）

●運行時刻：午前8時00分～

午後6時00分

●受付方法：前日の電話予約

による

●対象者：満60歳以上の方

で、自分で乗り降りするこ

とが可能な方

●運賃：同一地区及び隣接地

区への移動は五〇〇円、以

降1地区毎に五〇〇円ずつ

の加算

\*一部地域については、市中

心部への往復について市よ

り助成金あり。）

④地域情報センター（市民を

はじめ道内外の移住希望者

への情報発信、各種紹介、

相談、生活支援など多方面

に渡るさまざまな情報の一

元化機能を持ったセンター

で、地元のIT関連会社が

運営。）

⑤移住促進事業（ワンストップ

プ窓口の設置、移住体験、

各種PRを実施。）

⑥心の伊達市民（全国から伊

達の応援団を募る取組み

で、会員を通じての市のPR、

組織へのモニタリング

など行い、会員には「心の

伊達市民」の住民票・名

刺・年会費（二〇〇〇円）

に応じた特産品の送付など

の特典を与えている。）

以上多岐にわたり取り組ま

れ、このように我が町に無い

施策を積極的にやっている。

その他「農林漁業」は、複

合経営、有機物資源の堆肥化、

除間伐材を原料とし木質ペレ

ットの生産、育てる漁業の推進などの取組みがされている。

「観光」は、伊達武者まつ

り・有珠磯まつり・だて物産

まつり・春一番伊達ハーフマ

ラソン大会など各種イベン

ト、文化・体験型観光の推進、

洞爺湖有珠山ジオパークによ

るジオサイトや、縄文遺産の

活用などで観光客を取り込ん

でいる。

これら各分野での施策を町

でも考え、習い、ある一部分

でも推進できるのであれば少

しでも住民・町の為になるの

ではないかと思つた。

帰日も、又、列車の遅れで

乗り継ぎ駅を変更し、終始、

時間との戦いであつた。

研修参加者：柴田 正高

阿部 栄悦

見上 政子

腰山 良悦